

スプレー缶による火災にご注意を!!



スプレー缶による火災事故が多発しています。

スプレー缶による火災は、使用中やガス抜き作業中に起こる火災、中身が残ったままごみに出され、ごみ収集車やごみ処理施設で起こる火災など、様々な場面で発生しています。

【使用時の注意点】

- 炎や火気の近くで使用しない
- 火気を使用している室内で大量に使用しない
- 温度が40度以上となる場所に置かない
- 火の中に入れない

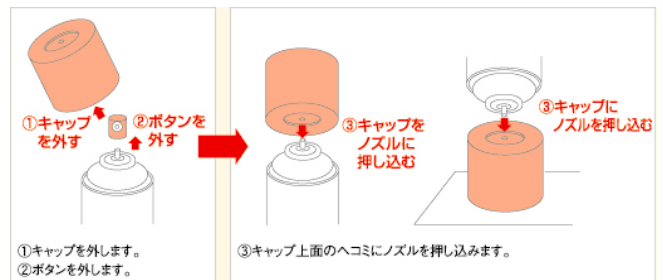


【正しいごみへの出し方】

- 1 缶を手で振って中身の有無を確認してください。
- 2 必ず中身を使い切りましょう。
「カシャカシャ」「チャプチャプ」など音がしたら、まだ中身が残っています。
音がしなくても、まだ中身が残っている場合があります。



- 3 『ガス抜きキャップ』で出し切ってください。
※火気のない風通しのよい屋外で行ってください。
※『ガス抜きキャップ』がない場合は、スプレーボタンを押して完全に出し切ってください。



- 4 自治体のごみの出し方に従って出しましょう。
※千曲市・坂城町とも、スプレー缶・カセットボンベは、使い切り、穴をあけて出すことになっています。
※穴を開ける場合も、火気のない風通しのよい屋外で行ってください。



問い合わせ先 千曲坂城消防本部 予防課 予防係
電話 (代)026-276-0119